

令和7年度

認定こども園の自己評価表

吉野川市立高越こども園

【評価対象期間】

令和7年4月1日から令和8年2月28日

【評価責任者】

吉野川市山川町94番地
吉野川市立高越こども園

管理者 洲脇 和代

こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

項目

◎ 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、0歳児から小学校就学前までの園児の成長を見据え、一貫した保育・教育を行っている。今後も園児一人一人の発達を保障し、健康で豊かな人間形成の基礎を培うことができるよう、職員が協力して教育・保育の実践に努めていきたい。また保護者には重要事項に関する説明書や園だより等で園の方針や目標を伝え、理解を促している。こども園の全体的な保育・教育計画については必要に応じて見直し、全職員が協力して目標に向かって取り組んでいけるようにしていきたい。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を活かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育・教育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				指導計画は、園児の実態を把握し、月および週の遊びや生活の計画を立案している。0～2歳児及び支援を要する園児について一人一人の園児に対応した計画を作成し、保育に活かしている。記録することで保育を振り返り、反省したり、次の遊びや生活に必要な準備や環境構成を行っている。
	(2) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				本園のデイリープログラムは子どもの発達段階に応じた流れが確立されており、日々の保育が安定して行えるため、引き続き継続が適当であると考えられる。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			年度当初、年間の主な行事については担当職員を決め、担当者が中心に計画をし、実施している。行事終了後は反省点や良かった点について話し合い、次年度につなげるようにしている。保護者参加の行事については、職員会で立案したものを保護者会役員会で協議し、承認後実施している。保育参観や運動会については開園当初に実施していたような形式を採用し、成果をえたと思われる。今後も、必要に応じて改善し、よりよい運営につながっていけるようにしていきたい。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分活かしているか。	○				
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育・教育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			業務内容に応じた能率的・合理的な運営組織づくりに努めている。職員配置については、クラスの実態を踏まえ、適材適所を意識した配置を心掛けています。日々の職員配置は全職員が把握できるように数日分を所定の場所に掲示している。係や仕事の分担・役割・割り当てについては、偏りが生じないように調整し、職員間で協力しながら取り組めるように努めている。
	(2) 職員の配置は適材・適所か。		○			
	(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			定期的に職員会議を開き、情報交換や共通理解を図っている。職員全員の参加は難しいため、出席した職員がクラスの職員やフリー職員に伝えたり、会議の記録を残し周知ができるよう、回覧したりしている。もう少し職員会の回数は増やすことを検討していきたい。
	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○			各クラスの指導計画は「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」や園の「全体的な計画」に基づき、立案している。異年齢児間においても常に連携を図りながら保育・教育を実践している。年齢別・クラスごとの保育実践および記録は集積している。今後も保育の記録や評価を行い、適切な保育やクラス運営ができるよう努めていく。
	(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○			
	(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
	(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。		○			
組 織	(1) 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			園児の健康状態については送迎時に保護者と密に連絡を取り合っている。保護者と連携し園児の健康に留意している。避難訓練は年度当初に年間計画を立て、火災、地震、水害、不審者対応の訓練、職員の消火訓練(2回)を実施した。小学校との総合避難訓練も実施している。不審者対応については、警察の方から防犯についてご指導いただいた。今後も様々な訓練を継続して実施し、万一の際に、落ち着いて行動ができるように備えていきたい。嘱託医による健診を実施し、その結果を保護者に周知し、必要に応じて医療機関への受診を促している。感染症発生状況については入り口に掲示したり、マチコミ等で知らせたりして注意喚起を行っている。発症時はクラス間で情報共有して感染対策を強化している。健康・安全な生活については今後も家庭へ啓発をしていきたい。
	(2) 避難訓練・防犯安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
	(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
つ 情 報 報 告	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			個人情報保護方針に基づき、職員は守秘義務を遵守している。個人情報が含まれる書類の取り扱いについては十分配慮し保管している。公文書收受、発送等は適正に処理している。
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○			
施 設 ・ 設 備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			消防設備、エレベーター、厨房施設、遊具について専門業者による定期点検を行っている。毎月、職員による施設・遊具の点検も行い、気になる箇所は修繕している。遊具・用具の整理・保管は適切に行っている。不審者対応は事務室でモニター等を通して園周辺の状況を確認し、送迎の時間帯以外は玄関を施錠し防犯に努めている。送迎時は各自が携帯している保護者証で確認している。不携帯の場合は免許証等で確認している。情報提供の掲示物は保護者が見やすいようにホール周辺に掲示している。
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			
出納経理	(1) 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。		○			監事に年度末に監査を受け、保護者に書面で報告している。

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			今年度より幼小連携部会が発足し、これまで以上に計画的にこども園と小学校がつながりを深めることに努め、連携、交流に取り組んできた。小学校と交流を実施したり、互いに保育や授業を参観する機会もあり相互理解を図ってきた。今年度を振り返り、次年度に向けて互いに成果と課題を明らかにすることもできたので、今後もこども園と小学校それぞれの指導観や指導方法を理解し、こども園から小学校への学びの連続性を保障し、子どもが安心して成長できる環境をつくっていききたい。
	(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
	(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に活かしているか。		○			
家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		保護者以外を対象にした参観日は安全面やプライバシーの観点から考えると実施は少し難しいと考える。地域の人材活用については今後積極的に行っていきたいと考えている。今年度は地域の方の畑を借りて栽培活動に取り組んだ。今後は、地域の人材や活動場所を積極的に活用し、子どもの学びを地域全体で支える体制づくりを進めていきたい。地域の行事については代表的なもののひとつである祭りに参加して楽しんだことにより、園でも友達と神輿を作った担いだり、その活動を通してクラスだけでなく異年齢児との交流を深めたりすることができた。今後も地域の伝統文化に触れる機会を大切に、自分たちが住む地域に親しみを感じることができる環境を大事にして、豊かな体験を積み重ねることができ環境を構成していききたい。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				子育て支援室を週3日開放している。園庭開放(月2回)や一時預かり事業も実施している。園庭開放については利用者が少なかった。子育て支援室での子育て相談は、職員だけでなく、市保健師等が定期的に来園し、地域の子育て世代の子育て相談に対応している。園児の子育て相談は、送迎時の機会や個別に懇談をするなどして対応しているが更に柔軟に対応できれば考える。園児の心身の発達について保護者と相談しながら、医療機関、児童発達支援センター、保健師等と連携を図っており、今後も個人情報保護に留意しながら取り組んでいきたい。
	(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
	(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○		
	(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
情報の発信	(1) こども園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。			○		園だよりは毎月発行し、行事予定や各クラスの保育目標を載せている。園児の生活や遊び、活動の様子についての発信は定期的に各クラスの保育室前にドキュメンテーションを掲示し保育教諭の保育に対する思い等をわかりやすく伝えている。発信の方法についても今後さらによい方法を検討していききたい。小学校や児童クラブとは、避難訓練や参観日の行事の開催時期等について情報を共有し協力している。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○		
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		第三者評価は昨年度受審し、その結果を受け、よりよい教育・保育が提供できるように努めている。保護者には毎年園の運営についてアンケートを行い結果を知らせている。結果を受け止め、今後も職員全体で問題を認識し改善に向けて取り組んでいきたい。
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○		

開かれたこども園づくり